

## アクセスポイント導入事例紹介（学園校閲済）

### 学校法人 足立学園 中学校・高等学校 様

#### お客様のご紹介

足立学園は、昭和4（1929）年に複数路線のターミナル駅「北千住」東口から徒歩1分という高い交通の便に恵まれた場所に創設された、男子教育を行う中学校・高等学校です。建学の精神「質実剛健 有為敢闘」は今も息づき、現在の言葉で表現した「自ら学び 心ゆたかにたくましく」を教育目標に掲げ、主体的に学ぶことのできる生徒の育成を基本に、志を持ち自ら将来を切り拓き、世のため人のために活躍できる紳士を育成しています。

中学・高校には合わせて34のクラブ・同好会があり、学園祭、体育祭、芸術鑑賞会、地域清掃、海外での語学研修と言った数多くの年間行事を通して人間教育にも力を入れ、社会性・自主性の育成を行っている事が大きな特色です。

ICT教育の環境も充実しており、各教室・小講堂など校内全域に無線LAN環境を展開しています。

足立学園は2015年からICT環境整備を開始し、電子黒板設置、学内Wi-Fiの構築と改善、双方向授業のための協働作業アプリの活用などを導入してきました。またマイクロソフト社の提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft365」を活用した学習環境の運用実績が認められ、マイクロソフト社より「Microsoft Showcase School」の認定を受けており、自宅にいても課題を提出したり授業内容を確認する事ができます。また在籍教員のMIEE（Microsoft認定教育イノベーター）は18名おり、随時提供されるため常に最先端のICT活用教育を行うことができます。新型コロナウイルスの影響への対応が迅速・スムーズに実現できたのも、ICT環境の整備にいち早く取り組んできた結果と考えます。

## ご利用例

### 課題

足立学園は5年前にWiFi環境の整備を行った。教員及び生徒の利用頻度、利用容量の増加に伴い2019年4月にRelay2の高収容能力アクセスポイントを追加導入したが、今回は5年前に導入した他社製のアクセスポイントをRelay2製のアクセスポイントへ切り替え、サービス及び運用管理を統一する。

- 夏休み、冬休みなどの長い休みを待たずに、週末だけの短期間工事で設置を完了する
- 新旧のアクセスポイントで差が出てしまっていたサービスを一律化する
- ネットワーク監視の簡素化、迅速化を図る

### 導入ソリューション

- Relay2 ストレージ付き高収容方アクセスポイントAP 200シリーズ
- クラウドWLANネットワークコントローラー

### 導入効果

- Relay2アクセスポイントの場合はイーサネットからクラウドに接続してセルフコンフィギュレーションを数分で完了する為、一回の週末で導入が完了できました。
- 学園内を高収容力のあるRelay2のWiFiネットワーク環境に統一できたので、利用環境の変化で繋がりにくくなっていた他社製のアクセスポイントのカバーエリアが大幅に改善されました。
- これまでは問題発生時には調査を依頼し、オンサイトでの解析を待たなければならなりませんでした。Relay2のクラウドWiFiの場合は即時にリモートからの解析が行える為短時間での調査が可能になりました。
- ソフトウェアのアップデートは夜間リモートで一斉に行われる為、作業のために学園へ立ち入るためのスケジュールの調整などが不要になりました。
- Relay2を選択した理由の一つは将来におけるエッジコンピューティングの活用です。ITの活用は加速度的に増加していますが、ネットワークのインフラ、特にバックホールの強化は簡単には行えません。例えば年間を通して10回以上催される学校説明会などで、Relay2のエッジ・コンピューティング・ホスティング(標準装備のECH機能)を利用すればアクセスポイントのストレージ内に格納された資料をバックホールに負荷を掛けずに、同時に多くの来訪者に提供する事が可能になるからです。



高収容能力アクセスポイントの導入でストレスのないWiFi環境へ移行。デジタル社会の新たな教育環境に向け、クラウドWiFiによる運用の簡素化、迅速対応が可能になりました。エッジコンピューティングのさらなる活用に期待しています。